

いわぬまぶんかぎいつうしん 岩沼文化財通信

～原遺跡①～



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第 10 号

2024年1月31日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL:0223-25-2302

質問受付中!

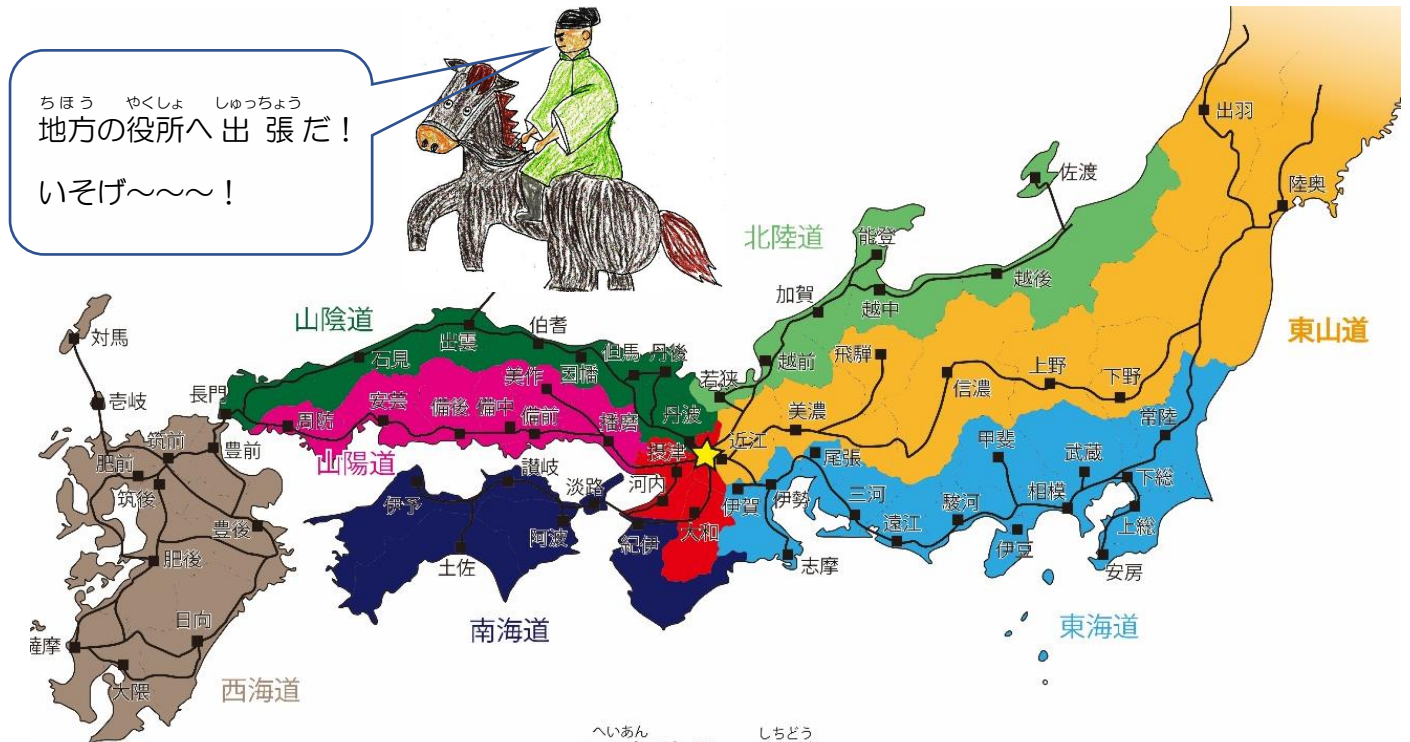
こだい くに 古代の国づくり

ならじだい てんのう ちゆうしん ほうりつ もと すす
奈良時代、天皇を中心とした法律に基づいた国づくりが進められました。律令国家と言

います(律とは刑罰の決まり、令とは政治に関する決まり)。地方の政治や税金制度など、様々

な社会のしくみができていくなか、道路もきれいに整えられていきました。その後、律令国家

のしくみは平安時代前半まで続きます。



へいあん しちどう
平安時代の七道

— 道路 ※大きな道路を基準に7つの地域に分けられていた(東山道、東海道、北陸道、南海道、

山陽道、山陰道、西海道) 宮城はオレンジの東山道。

中央の赤い地域は都にちかい地域で畿内と呼ばれ別に管理されていた。

※道の途中には、駅家と呼ばれる施設がつけられ、都から地方にくる使者が馬を乗り継

いだり休憩や宿泊に使われた。

★都(奈良時代は奈良、平安時代は京都におかれた。)

■国府 ※役所のこと。地方の政治の中心の場所、今の県庁のような所